

岐路に立つアフリカ

日本国際政治学会編

- 序章 二一世紀アフリカにおける国家と国際関係……杉木 明子
 リベリアにおける「マンディンゴ問題」の史的変容……落合 雄彦
 紛争を再生産する国家、植民地化の遺産、
 新植民地主義……戸田 真紀子
 岐路に立つ南スーダン共和国……山田 真弓
 アフリカにおける政治体制変動の評価をめぐって……速藤 貢
 国際刑事裁判所による司法介入と
 ケニアの司法制度改革……藤井 広重
 紛争再発と和平合意……小林 綾子
 文民の保護における限界と無限……上野 友也
 中国アフリカ関係の新展開……渡辺 紫乃
 日本における反アパルトヘイト国際連帯運動……牧野 久美子
 中曽根政権期の対北朝鮮外交に関する研究……崔 智喜
-
- 〈書評論文〉
 難民・移民に対する国際的な協力体制の再興に向けて……中山 裕美
- 〈書評〉
 小笠原欣幸著
 『台湾総統選挙』……家永 真幸
 マシュー・ロンゴ著、庄司克宏監訳
 『国境の思想』……須田 祐子

国際政治

210